





もくじ

はじめに..... 4  
 火事を知ろう..... 5

● 毎日の点検と訓練..... 46  
 ● 予防や査察などの仕事..... 48  
 ● 消防士の人へ質問..... 50

1章 消防署を見学しよう

● 消防署見学の準備をしよう..... 14  
 ● 消防署はどこにあるの?..... 16  
 ● 消防署はどんなところ?..... 18  
 ● どんな人が、はたらいているの?..... 20  
 ● 消防隊の仕事① — 消防士の1日 — ..... 22  
 ● 消防隊の仕事② — 服装と道具 — ..... 24  
 ● 救急隊の仕事..... 26  
 ● 救助隊の仕事..... 28  
 ● 消防自動車① ポンプ車 ..... 30  
 ● 消防自動車② はしご車 ..... 32  
 ● 消防自動車③ 救急車 ..... 34  
 ● 消防自動車④ 救助を目的にした車など ..... 36  
 ● 特別な場所ではたらく乗りもの..... 38  
 ● 火事が起きたら..... ① 出場 ..... 40  
 ● 火事が起きたら..... ② 消火 ..... 42  
 ● 火事が起きたら..... ③ 調査 ..... 44

2章 火事を消すしくみを知ろう

● 消防設備① — 家庭 — ..... 54  
 ● 消防設備② — 学校 — ..... 55  
 ● 消防設備③ — まち — ..... 56  
 ● 消防組織 — 消防団 — ..... 58  
 ● 火事や災害が起きたら..... 60  
 ● 火事の通報 — 119番の流れ — ..... 62  
 ● 119番のときに注意すること..... 64

3章 火事をふせぐ方法を考えよう

● 火事をふせぐ行動..... 66  
 ● 火事をふせぐ素材..... 68  
 ● コンセントが原因の火事..... 70  
 ● 小学生ができる活動..... 72  
 ● 消防の祭り..... 73  
 ● 消防署のことをまとめよう..... 74  
 ● さくいん..... 78



## はじめに

みなさんは、学校に通うときや近くの公園で遊んでいるときなどに、消防車を見たことがあると思います。真っ赤な消防車は赤いランプを光らせ、大きなサイレンを鳴らして走るの、すぐに気がつきます。

消防車には、防火服を着た消防士が何人も乗っていて、早く火を消すために急いで火事現場にむかいます。

火事を発見した人が119番通報をすると、通信指令室から消防署をはじめ、さまざまな場所に連絡が入ります。救急隊や警察官、ガス会社・電力会社・水道局ではたらく人などが、火を消すために協力しています。消防士を中心に多くの人々が、わたしたちのくらしの安全を守るために、一生懸命にはたらいているのです。

火事は、家を焼きつくし、人の命までもうぼう、とても怖いものです。

火事は起きないことがいちばんよいのですが、残念ながら、今までずっと火事は発生しつづけています。日本全体で見ると、火事の発生件数がゼロになった年、ゼロになった月はありません。

わたしたちのくらしをおびやかす火事をなくすことはできないのでしょうか。

安全で安心な生活を送るためには、火事からわたしたちのくらしを守らなくてはなりません。

火事をなくすにはどうしたらよいか、この図鑑をよく読んで、考えてみてほしいと思います。

筑波大学附属小学校  
社会科教育研究部教諭  
梅澤真一

## 火事を知ろう



# 消防署はどんなところ？

川崎市臨港消防署を紹介します。消防署は、消防士がいつでもすぐに火事や災害の現場へむかえるように、24時間生活ができるようになっています。



**トレーニングルーム**  
体をきたえる部屋。道具の点検や使い方の訓練を行うこともある。



**訓練するところ**  
救急隊が、人形を使った訓練をする。



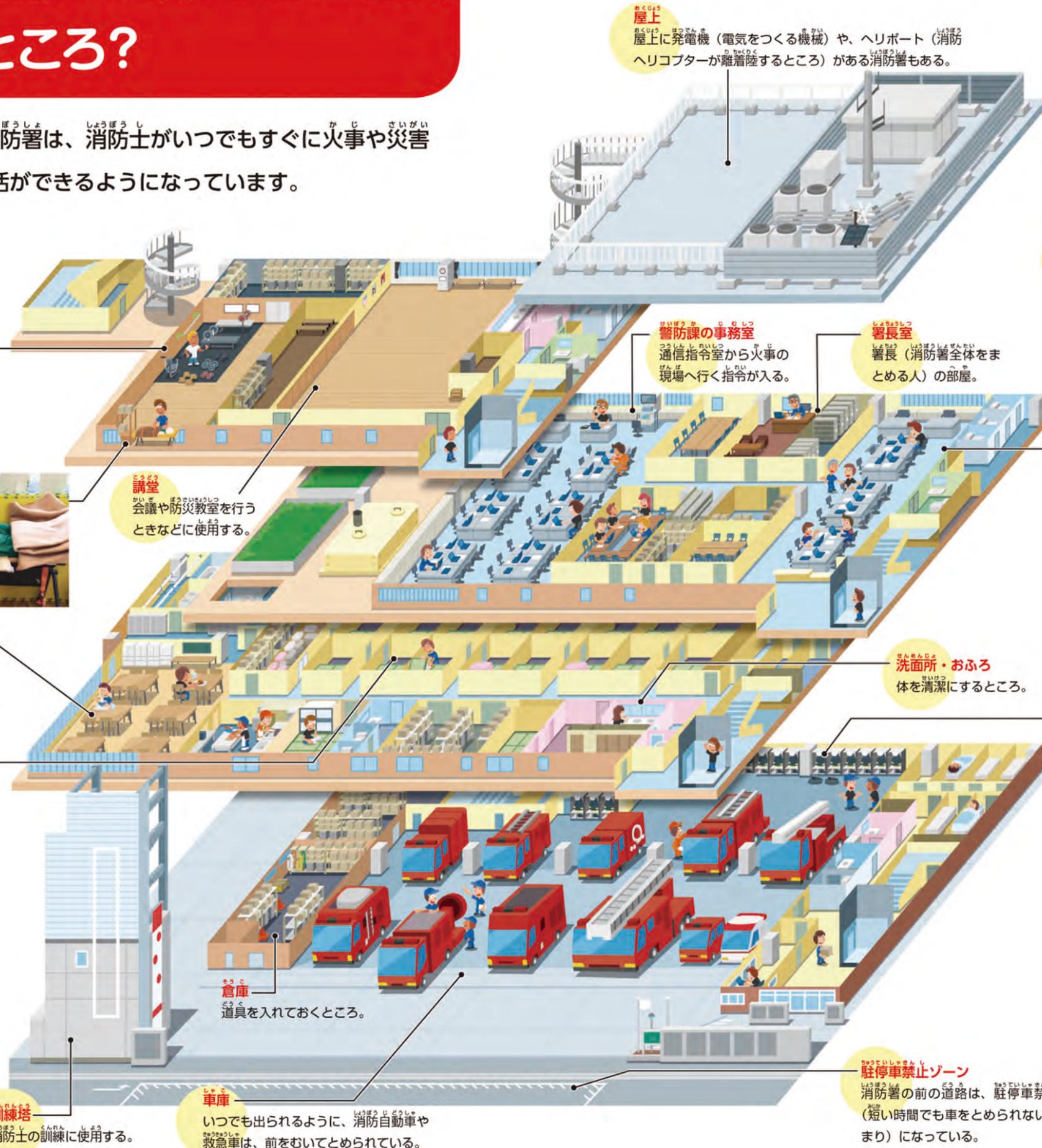
**食堂**  
食事を自分たちでつくって食べる部屋。



**仮眠室**  
消防士が仮眠（短い時間ねむること）をとる部屋。



**訓練塔**  
消防士の訓練に使用する。



**屋上**  
屋上に発電機（電気をつくる機械）や、ヘリポート（消防ヘリコプターが離着陸するところ）がある消防署もある。

**警防課の事務室**  
通信指令室から火事の現場へ行く指令が入る。

**署長室**  
署長（消防署全体をまとめる人）の部屋。

**講堂**  
会議や防災教室を行うときなどに使用する。

**洗面所・お風呂**  
体を清潔にするところ。

**倉庫**  
道具を入れておくところ。

**車庫**  
いつでも出られるように、消防自動車や救急車は、前をむいてとめられている。

**駐停車禁止ゾーン**  
消防署の前の道路は、駐停車禁止（短い時間でも車をとめられないきまり）になっている。



**予防課の事務室**  
地域の人の相談を受けつけたり、文書をつくる仕事をしたりする。



**防火服をおくところ**  
車庫の奥に、すぐに着がえられる準備がしてある。

消防自動車に、ガソリンや軽油などの燃料を入れる設備がある消防署もあるよ。



# 消防隊の仕事① — 消防士の1日 —

消防隊は、いつよび出されるかわからない急な「出場」にそなえて、夜でも消防署にとまって仕事をしています。消防士の1日のすごし方を見てみましょう。

## 消防隊の仕事とは？

消防隊の仕事は、火を消したり人を助けたりすることです。このため、消防隊は、いつでも火事や災害の現場へ行けるように、24時間勤務をしています。夜は消防署にとまっています。



夜でも火事の現場にかけつける消防士。



消防士が協力して、すぐに火を消す。

## 消防隊の「勤務表」

消防隊は、24時間ずっと起きているわけではなく、休憩や仮眠をとりながら、仕事をしています。

消防隊は、24時間勤務をするために、いくつかの班に分かれて、「2交替制」や「3交替制」などで、はたらいています。

「2交替制」では、朝から翌日の朝まではたらく人と、休みの人の2つに分かれます。

「3交替制」では、下の①②③のように3班に分かれて、はたらきます。

|   | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  | 日  | 月  |
|---|----|----|----|----|----|----|----|----|
| ① | 当番 | 非番 | 休み | 当番 | 非番 | 休み | 当番 | 非番 |
| ② | 非番 | 休み | 当番 | 非番 | 休み | 当番 | 非番 | 休み |
| ③ | 休み | 当番 | 非番 | 休み | 当番 | 非番 | 休み | 当番 |

\*非番は、休みではありません。当番の人だけでは人手が足りない場合によび出されるため、いつでも連絡のとれる場所にいなければなりません。

## 1日のすごし方 — 川崎市の消防署の例 —

消防隊は、ふだんは消防署で仕事をしています。消防署で、どのような24時間をすごしているのでしょうか。

1日の仕事の流れがわかったよ。昼食や仮眠など、ちゃんと休憩もとっているんだね。

7:30 出勤

当番の消防士が消防署に行きます。

8:30 交替

車庫の前に整列して、前日の当番の消防士から仕事を引きつぎます。



交替は、全員で整列して行う。

8:40 体操

いつ火事の連絡が入っても動けるように、体操をして体を整えます。



声を出して体操する。

8:50 点検

消防自動車や道具が、きちんと動くか点検します。



消防自動車のライトがつくか、点検しているところ。

9:00 ミーティング

その日行う仕事の確認をしたり、前日あった火事や災害の連絡をしたりします。

10:00 調査

消火栓など、まちの消防設備に問題がないか、調査に出かけます。



まちの消火栓を開けて、中にゴミなどがないか調べる。

12:00 昼食

消防士がつくります。いつ出場するかわからないので、外へ食事には行きません。

8:30 交替

次の日の当番の人と代わります。

6:30 点検・清掃

前日に使った道具をかわかして、もとの場所にしまったり、数を数えたりします。消防自動車も点検します。

6:00 起床(起きる)

23:00 仮眠

いつでも火事や災害の場所へ行けるように、活動服(ふだん消防署で着ている服)を着たまま、ねむります。交代で、出場命令を受け取る仕事をする人もあります。



仮眠室でねむる。

21:00 おふろ

19:00 事務の仕事

火事をへらす取り組みを話し合ったり、火事の報告文書をつくらしたりします。

18:00 夕食

13:00 訓練・トレーニング

火を消したり、人を助けたりする訓練をします。



人と同じぐらいの重さのおもりを使って、救助訓練をする。

# 消防自動車① ポンプ車

火事や事故、災害のときに活動するポンプ車、はしご車、救急車をまとめて「消防自動車」といいます。それぞれどんなしくみがあるのでしょうか。

## 放水して火を消す

「ポンプ」とは、水をくみあげて放水するための装置です。ポンプ車は、まちの中にある「消火栓」や「防火水そう」などにホースをつないで、車の中に一度水を入れたあと、いきおいをつけて火に水をかけ、消火します。

出場するときは、「ウーウー」「カンカンカン」というサイレンが鳴るよ。火を消してもどるときは、「カン、カン」と、2回鳴らすことがあるよ。



- 赤色灯** 火事の現場に行くときにつける。
- アンテナ** 無線の連絡を受け取る。
- モーターサイレン** 火事の現場に行くときに、通行中のほかの車によびかける。
- ホース** 何種類ものホースが、20～30本入っている。きれいにまかされている。
- 三連はしご** のぼすと8mぐらいの高さになり、3階までとどく。
- 吸水管** まちの消火栓や防火水そうなどから、水をすうホース。
- ロープやスタンドパイプ、救助用の道具などが入っている。**
- 放水口** ホースをつなぎ、火を消すための水を出す。
- メーター** 水のいきおいをはかる。
- ポンプ** 車体の中にある。
- 座席** ふうつう、1台のポンプ車に4～5人が乗れる。
- ふだんは、シャッターをしめている。**



火を消す水は、まちの中に用意されているんだ！それをポンプ車ですいあげるんだね。



水そうつきポンプ車

水そうつきのポンプ車もあるよ。水を1,500L以上つんでいるため、まわりに水がないところで消火できるんだ。消火活動のはじめにも活躍しているよ。



ロープやスタンドパイプ、救助用の道具などが入っている。



**ホースカー** ホースをのせた電動の小型車。ポンプ車のうしろに入っている。火事の現場へポンプ車が近づけないときに、ホースを運ぶ。



# 消防設備③ —まち—

わたしたちのまちの中にも、いろいろな場所に消防設備がおかれています。どこに何があるのか調べてみましょう。

## まちの中にもある！ 消防設備



地下の水道管とつながっている。



地下の大きな水そうとつながっている。

表示は、外国語でも書かれているね。

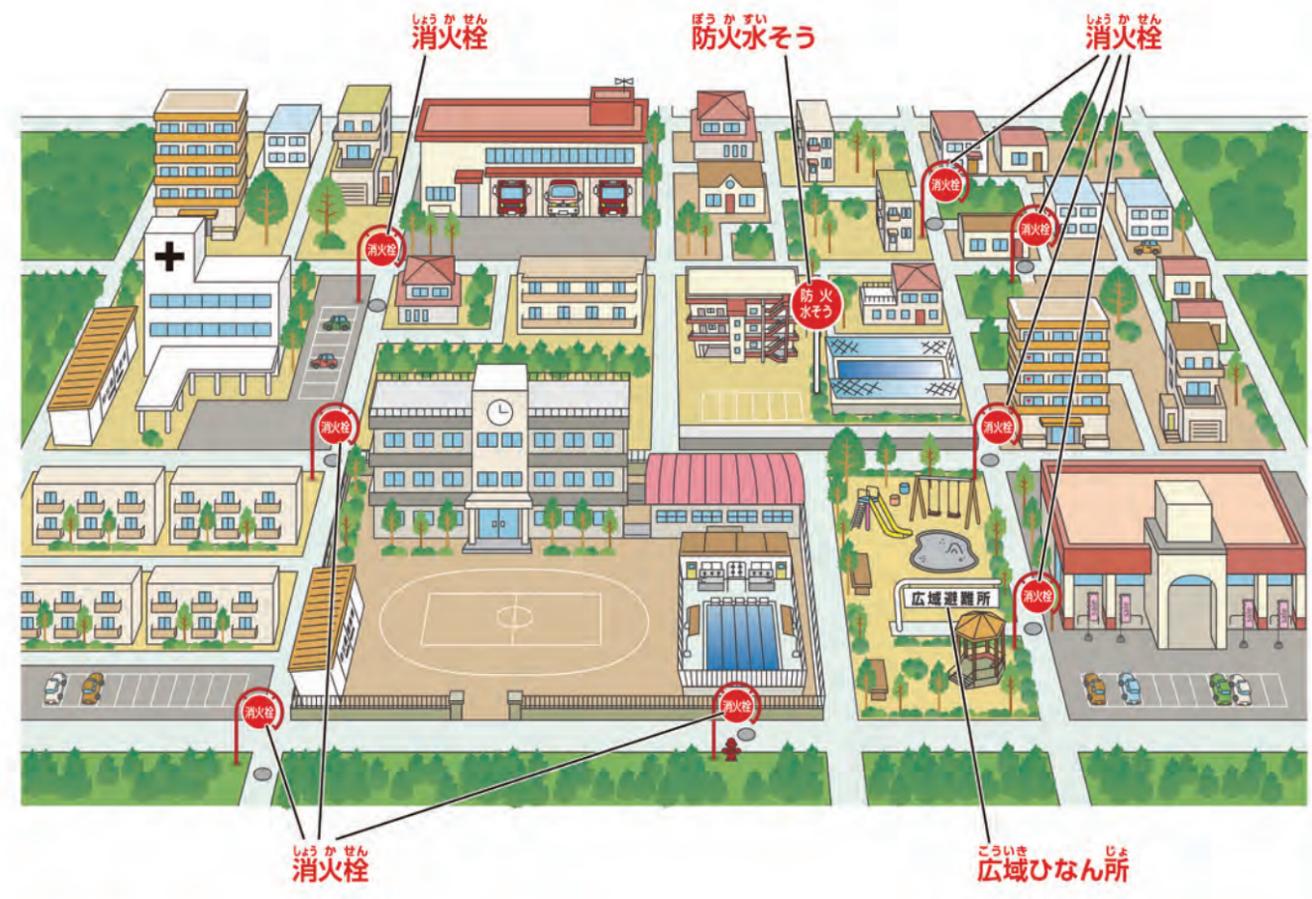
消防団の倉庫 1台の消防自動車と、ホースやロープなどの道具が入っている。



## まちのどこにある？

わたしたちのまちには、消火栓や防火水そうなど、さまざまな消防設備があります。消火栓は、道路にそって、たくさん設置されています。どこで火事が起きても、ポンプ車に水を

取り入れ、消火活動ができるようになっています。学校のプールや公園にある防火水そうは、地震で水が出ないときにも役立つ大切な消防設備です。



## まちの建物の中は？

公共施設などの建物の中にも、火事が起きたことを知らせる火災報知器や、ホースの入った屋内消火栓など、さまざまな消防設備があります。また、人の命をすくうAEDが、人が集まる場所においてあります。



火災報知器



AED 心臓が正常に動かなくなった人に、電気ショックをあてて回復させる。医者でなくても使うことができる。